

教科名	理科	科目名	化学基礎	
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
履修学年	第1学年	学科・コース	全科	
単位数	2単位	授業形態	一斉授業・必修	
教科書	高等学校改訂 新化学基礎（第一学習社）	副教材等	化学基礎の徹底暗記&ドリル（啓林館）	
1 学習の目標 (1) 化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。 (2) 化学の学習は環境に配慮した上で、健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。 (3) 主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を身に付ける。 (4) 化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する能力を身に付ける。 (5) 物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。				
2 学習内容と進め方 (1) 教科書を中心に、随時、実験を入れながら進めます。 (2) 授業の中で、副教材・プリントを活用し、理解を深めます。				
3 学習の留意点 (1) 身近なものに関心をもち、常に探求する心を持つ。 (2) 副教材・プリントを活用しながら、自ら学ぶ姿勢をもつ。 (3) 実験の時は、積極的に取り組み、安全に十分配慮をする。 (4) ノートをしっかり取り、まとめる力を身につける。				
4 評価の方法 (1) 定期考査で「思考・判断」「知識・理解」を中心に評価する。 (2) 平常の授業への取り組みで「関心・意欲・態度」を評価する。 (3) 実験レポート、ノート、プリントなどの提出状況で「関心・意欲・態度」を、提出内容で「思考・判断・表現」「観察・実験の技能」を評価する。				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	序章 化学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 人間生活の中の化学 化学とその役割 化学で取り扱う変化 	<ul style="list-style-type: none"> 物質と人間生活、化学とその役割に関して関心をもち、実証的、論理的に考察して科学的に判断する事が出来る。 【関】【思】 観察、実験などを通して科学的に探究する方法を身につけ、自らの考えを表現する事ができ、知識を身につけている。 【技】【知】 	一斉テスト <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">この単元を自己評価してみよう A B C</div>
5				
6	第1章 物質の構成 [1]物質とその構成要素	<ul style="list-style-type: none"> 物質の成分と分離 化合物・単体と構成元素 成分元素の確認 原子のなりたち 同位体とその利用 原子の電子配置 元素の周期律と周期表 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の成り立ちと状態変化に関心をもち、身の回りの物質を考察できる。 【関】【思】 物質の分離に関する化学的方法と状態変化に関する概念、基本的な知識を身につけている。 【技】【知】 物質の構成粒子としての原子の構造について関心をもち、周期表の構成について考察できる。 【関】【思】 電子配置について理解するとともに、基本的な知識を身につけている。 【技】【知】 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">この単元を自己評価してみよう A B C</div>
7				期末考査 課題提出

8	[2]物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン ・イオンからできる物質 ・共有結合 ・分子の構造と極性 ・分子からできる物質 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成とイオン結合のしくみについて関心を持ち、周期性やイオン結晶の性質等について考察できる。 【関】【思】 	<p>一斉テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう A B C</div>
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・化学結合の多様性について理解・習得し、結合と結晶の性質の関係を的確に表現できる。 【技】【知】 	<p>中間考査 課題提出</p>
10	第2章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・原子量 ・分子量・式量 ・物質量 ・溶解と濃度 ・溶解度 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子量、分子量、式量およびアボガドロ数と物質量との関係について正確に理解、習得し、気体の体積、濃度等について考察できる。 【思】【知】 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう A B C</div>
	11	[1]物質量と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化と化学反応式 ・化学反応式と量的関係 ・化学反応における諸法則 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式の示すことについて関心を持ち、量的な関係について説明できると共に、具体的な観察実験を通して正確に測定できる技能を身につける。 【関】【技】
12	[2]酸・塩基とその反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基 ・酸・塩基の強弱と水素イオン濃度 ・水素イオン指数pH ・中和と塩 ・中和の量的関係 ・中和滴定 ・中和滴定とpHの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基の定義や性質について関心を持ち、価数や強弱、pH についても考察できる。 【関】【思】 ・中和反応の定義とその量的関係について理解・習得し、塩の生成や中和滴定についての技能を習得している。 【技】【知】 	<p>一斉テスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう A B C</div>
	1			
2	[3]酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化と還元 ・酸化数と酸化還元反応 ・酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向 ・酸化還元反応の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応の定義を理解し、電子の授受や酸化数の変化による説明が出来る、電池の原理についても説明できる。 【技】【知】 ・金属のイオン化傾向について関心を持ち、いろいろな金属の反応性について考察できる。 【関】【思】 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう A B C</div>
	3			<p>期末考査 課題提出</p>

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「観察・実験の技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。